

2019年冬期定期航空会社別スケジュール

発着回数が冬期スケジュールにおいて最高値を記録！

＝国際線旅客便発着回数も中国線の大幅増により
冬期スケジュールにおいて最高値を記録＝

2019年冬期スケジュール（2019年10月27日～2020年3月28日）期初※の定期航空会社別スケジュールは、発着回数が4,914回/週、就航都市数が海外118都市、国内22都市、合計140都市、乗り入れ航空会社数が106社となりました。

（※集計対象期間は2019年11月10日～11月23日（14日間））

◆発着回数

発着回数は、夏期スケジュール期間中の新規就航のほか、冬期スケジュールより新規就航する路線もあることから、冬期スケジュールにおいて過去最高だった2018年（4,741回/週）より173回増え、4,914回/週と**冬期スケジュールとしての最高値を更新**しました。

国際線発着回数は、旅客便において中国路線を中心に新規就航及び増便があり冬期として過去最高を記録したことに加え、貨物便においても新規乗り入れなどがあることから、冬期スケジュールにおいて過去最高だった2018年（3,755回/週）より189回増え、3,944回/週と**冬期スケジュールとしての最高値を更新**しました。

◆就航都市数

就航都市数は、国際線において夏期スケジュール期間中の新規就航に加え、冬期スケジュールより厦門航空/福州線、全日本空輸/チェンナイ線、SCAT航空/ヌルスルタン線の新規就航などがあることから、海外118都市、国内22都市、合計140都市（144路線）と**スケジュール期初時点における最高値を更新**しました。

◆定期乗り入れ航空会社数

冬期スケジュールより吉祥航空や春秋航空などの旅客便に加え、貨物便においても中国貨運航空、カーゴルクスイタリアの新規乗り入れがあることから、定期乗り入れ航空会社数が106社となり、**開港以来の最高値を更新**しました。

2019年冬期 定期航空会社別スケジュール発着回数

総計

(単位:回)

区 分	週間発着回数			増 減	
	19冬①	19夏②	18冬③	①-②	①-③
国 際 線	3,944	3,961	3,755	△ 17	189
国 内 線	970	982	986	△ 12	△ 16
国 際・国 内 線 計	4,914	4,943	4,741	△ 29	173
日 平 均	702	706	677	△ 4	25

国際線 (旅客便・貨物便)

(単位:回)

区分	略号		社数	航空会社名	週間発着回数			増 減	
	3レター	2レター			19冬①	19夏②	18冬③	①-②	①-③
第1ターミナル北ウイング	ACI	SB		・ エア・カレドニア・インターナショナル	10	10	10	0	0
	AFL	SU		・ アエロフロート・ロシア航空	14	14	14	0	0
	AFR	AF		・ エールフランス航空	14	14	14	0	0
	AMX	AM		・ アエロメヒコ航空	14	14	14	0	0
	AZA	AZ		・ アリタリア・イタリア航空	26	28	24	△ 2	2
	CRK	HX		・ 香港航空	38	42	42	△ 4	△ 4
	CSC	3U		・ 四川航空	14	8	8	6	6
	CSN	CZ		・ 中国南方航空	68	36	36	32	32
	CXA	MF		・ 厦門航空	22	8	8	14	14
	DAL	DL		・ デルタ航空	80	92	92	△ 12	△ 12
	ELY	LY		・ エルアル イスラエル航空★ (CRKとのコードシェア)					
	ETD	EY		・ エティハド航空	14	14	14	0	0
	GIA	GA		・ ガルーダ・インドネシア航空	14	14	14	0	0
	HVN	VN		・ ベトナム航空	56	56	52	0	4
	JNA	LJ		・ ジンエアー●	28	42	28	△ 14	0
	KAL	KE		・ 大韓航空	78	90	90	△ 12	△ 12
	KLM	KL		・ KLMオランダ航空	14	20	14	△ 6	0
	RBA	BI		・ ロイヤルブルネイ航空	8	6		2	8
	SHU	HZ		・ オーロラ航空	14	18	8	△ 4	6
	SYL	R3		・ ヤクーツク航空	0	0	4	0	△ 4
	SVA	SV		・ サウディア★ (ETDとのコードシェア)					
TLM	SL		・ タイ ライオンエアー●	14	14		0	14	
第1ターミナル北ウイング (T1N) 合計 (21社)					540	540	486	0	54
第1ターミナル南ウイング	AAR	OZ		・ アシアナ航空	42	42	42	0	0
	ABL	BX		・ エアバス●	14	42	42	△ 28	△ 28
	ACA	AC		・ エア・カナダ	20	36	20	△ 16	0
	AJX	NQ		・ エアージャパン	14	28	28	△ 14	△ 14
	ANA	NH		・ 全日本空輸	588	560	540	28	48
	ANZ	NZ		・ ニューゼaland航空	16	16	20	0	△ 4
	ASV	RS		・ エアソウル●	28	28	28	0	0
	AUA	OS		・ オーストリア航空	0	12	0	△ 12	0
	CCA	CA		・ 中国国際航空	92	72	72	20	20
	CDG	SC		・ 山東航空★ (ANAとのコードシェア)				0	0
	CSZ	ZH		・ 深圳航空	16	14	14	2	2
	DLH	LH		・ ルフトハンザドイツ航空★ (ANAとのコードシェア)					
	ETH	ET		・ エチオピア航空	10	10	8	0	2
	EVA	BR		・ エバー航空	56	42	42	14	14
	LOT	LO		・ LOTポーランド航空	10	14	8	△ 4	2
	MGL	OM		・ MIATモンゴル航空	10	10	10	0	0
	MSR	MS		・ エジプト航空	4	2	2	2	2
	SAA	SA		・ 南アフリカ航空★ (ANAとのコードシェア)					
	SAS	SK		・ スカンジナビア航空	12	14	12	△ 2	0
	SIA	SQ		・ シンガポール航空	42	42	42	0	0
	SWR	LX		・ スイスインターナショナルエアラインズ	14	14	14	0	0
THA	TG		・ タイ国際航空	42	42	42	0	0	
THY	TK		・ ターキッシュ エアラインズ	14	14	14	0	0	
UAL	UA		・ ユナイテッド航空	154	154	154	0	0	
UZB	HY		・ ウズベキスタン国営航空	2	4	0	△ 2	2	
VAU	VA		・ ヴァージン・オーストラリア★ (SIAとのコードシェア)						
第1ターミナル南ウイング (T1S) 合計 (25社)					1,200	1,212	1,154	△ 12	46
第1ターミナル 合計 (46社)					1,740	1,752	1,640	△ 12	100
第2ターミナル	AAL	AA		・ アメリカン航空	46	48	54	△ 2	△ 8
	AIC	AI		・ エア インディア	8	8	8	0	0
	ALK	UL		・ スリランカ航空	8	8	8	0	0
	AMU	NX		・ マカオ航空	28	14	14	14	14
	ANG	PX		・ ニューギニア航空	0	0	2	0	△ 2
	BAW	BA		・ ブリティッシュ・エアウェイズ	14	14	14	0	0
	BKP	PG		・ バンコク・エアウェイズ★ (JALとのコードシェア)					
	CAL	CI		・ チャイナエアライン	70	70	70	0	0
	CEB	5J		・ セブパシフィック航空●	50	42	36	8	14
	CES	MU		・ 中国東方航空	78	48	48	30	30
	CHH	HU		・ 海南航空	14	6	6	8	8
	CPA	CX		・ キャセイパシフィック航空	82	86	82	△ 4	0
	DKH	HO		・ 吉祥航空	14			14	14
	ESR	ZE		・ イースター航空●	28	42	28	△ 14	0
	FFM	FY		・ ファイアーフライ★ (MASとのコードシェア)					
	FIN	AY		・ フィンランド航空	18	28	18	△ 10	0
	FJI	FJ		・ フィジー・エアウェイズ	4	4	6	0	△ 2
	HAL	HA		・ ハワイアン航空	14	14	14	0	0
	HKE	UO		・ 香港エクスプレス●	48	52	44	△ 4	4
	IBE	IB		・ イベリア航空	8	10	10	△ 2	△ 2
	IDX	XT		・ インドネシア・エアアジアX●	0	0	14	0	△ 14
	JAL	JL		・ 日本航空	546	560	568	△ 14	△ 22
	LAN	LA		・ LATAM Airlines※★ (JALとのコードシェア) ※旧ラン航空					
	MAS	MH		・ マレーシア航空	28	28	28	0	0
	MDA	AE		・ マンダリン航空	14	14	14	0	0
	NCT	XW		・ ノックスケート●	22	14	14	8	8
	PAL	PR		・ フィリピン航空	56	56	56	0	0
	PIA	PK		・ パキスタン国際航空	4	0	4	4	0
	QFA	QF		・ カンタス航空	28	28	28	0	0
	QTR	QR		・ カタール航空	14	14	14	0	0
	SBI	S7		・ S7航空	22	18	16	4	6
	TAM	JJ		・ LATAM Airlines Brasil※★ (JALとのコードシェア) ※旧TAM航空					
	TAX	XJ		・ タイ・エアアジアX●	42	42	28	0	14
	TGW	TR		・ スケート●	38	38	38	0	0
	THT	TN		・ エア タチ メイ	4	4	4	0	0
	TTW	IT		・ タイガー・エア台湾●	38	36	36	2	2
	TWB	TW		・ ティーウェイ航空●	48	54	48	△ 6	0
	UAE	EK		・ エミレーツ航空	14	14	14	0	0
	VJC	VJ		・ ベトジェット●	28	14		14	28
VSV	DV		・ SCAT航空	4			4	4	
XAX	D7		・ エアアジアX●	4			4	4	
第2ターミナル (T2) 合計 (39社)					1,486	1,428	1,386	58	100

区分	略号		社数	航空会社名	週間発着回数			増減		
	3レター	2レター			19冬①	19夏②	18冬③	①-②	①-③	
旅客便	第3ターミナル	APJ	MM	・ピーチ・アビエーション●※2019年10月27日よりT1から移転	28	0	0	28	28	
		CQH	9C	・春秋航空●	14			14	14	
		JJA	7C	・チエジウ航空●	48	94	80	△46	△32	
		JJP	GK	・ジェットスター・ジャパン●	40	50	50	△10	△10	
		JST	JQ	・ジェットスター航空●	20	28	18	△8	2	
		SJO	IJ	・Spring Japan●	56	42	36	△14	20	
		VNL	JW	・バーニエア●	0	70	84	△70	△84	
		第3ターミナル (T3) 合計 (6社)				206	284	268	△78	△62
		国際線 旅客便 計 (91社)				3,432	3,464	3,294	△32	138
		日平均				490	495	471	△5	19
貨物便	AAR	OZ	・アジアナ航空	6	8	6	△2	0		
	ABW*	RU*	・エアブリッジカーゴ	10	16	10	△6	0		
	AHK*	LD*	・エアホンコン	12	12	12	0	0		
	AJX	NQ	・エアージャパン	9	9	9	0	0		
	ANA	NH	・全日本空輸	98	93	93	5	5		
	BOX*	3S*	・アエロジック	8	6	18	2	△10		
	CAL	CI	・チャイナエアライン	10	10	10	0	0		
	CAO*	CA*	・中国国際貨運航空	10	6	6	4	4		
	CKK*	CK*	・中国貨運航空	6			6	6		
	CKS*	K4*	・カルタ航空	6			6	6		
	CLX*	CV*	・カーゴルクス	2	2	2	0	0		
	CPA	CX	・キャセイパシフィック航空	12	11	12	1	0		
	FDX*	FX*	・フェデラルエクスプレス	87	86	90	1	△3		
	GEC*	LH*	・ルフトハンザカーゴ	14	18	14	△4	0		
	GTI*	5Y*	・アトラスエア	22	22	18	0	4		
	ICV*	C8*	・カーゴルクスイタリア	6			6	6		
	KAL	KE	・大韓航空	14	14	12	0	2		
	MAS	MH	・マレーシア航空	4	4	4	0	0		
	NCA*	KZ*	・日本貨物航空	84	80	49	4	35		
	PAC*	PO*	・ポーラーエアカーゴ	46	54	50	△8	△4		
UPS*	5X*	・ユナイテッドパーセルサービス	46	46	46	0	0			
国際線 貨物便 計 (21社 *うち貨物専用14社)				512	497	461	15	51		
日平均				73	71	66	2	7		
国際線 計 (105社)				3,944	3,961	3,755	△17	189		
日平均				563	566	536	△3	27		

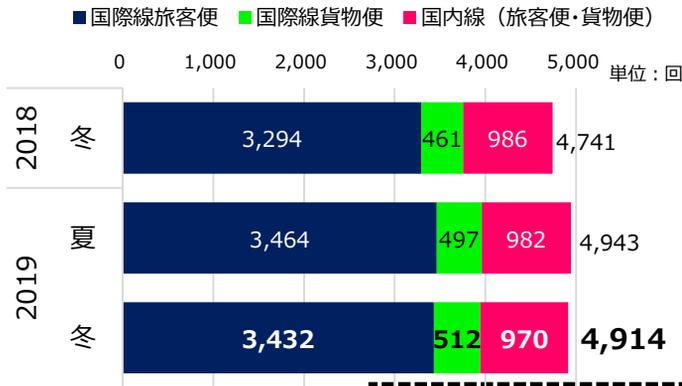
国内線 (旅客便・貨物便)

(単位: 回)

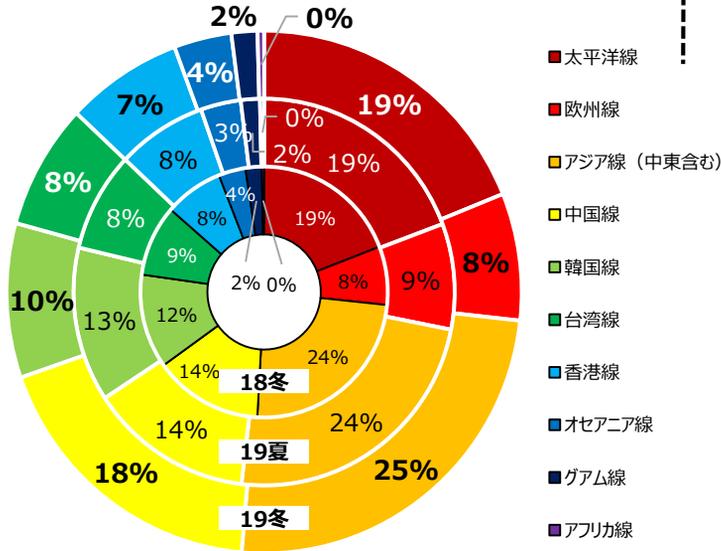
区分	略号		社数	航空会社名	週間発着回数			増減		
	3レター	2レター			19冬①	19夏②	18冬③	①-②	①-③	
旅客便	T1	ANA	NH	全日本空輸	182	168	168	14	14	
		APJ	MM	・ピーチ・アビエーション●※2019年10月27日よりT3へ移転	0	56	56	△56	△56	
		IBX*	FW*	・IBEXエアラインズ	42	28	28	14	14	
	T2	JAL	JL	日本航空	84	84	84	0	0	
		T3	APJ	MM	・ピーチ・アビエーション●※2019年10月27日よりT1から移転	168	-	-	168	168
			JJP	GK	・ジェットスター・ジャパン●	414	438	408	△24	6
			SJO	IJ	・Spring Japan●	70	70	70	0	0
VNL	JW		・バーニエア●	0	128	162	△128	△162		
国内線 旅客便 計 (6社 *うち国内線のみ就航1社)				960	972	976	△12	△16		
貨物便	ANA	NH	全日本空輸	10	10	10	0	0		
	国内線 貨物便 計 (1社)				10	10	10	0	0	
国内線 計 (6社 *うち国内線のみ就航1社)				970	982	986	△12	△16		
日平均				139	140	141	△1	△2		

- ・航空会社欄: 「★」コードシェアのみの航空会社、「●」JLCC (ローコストキャリア)
- ・LATAM Airlinesは統一ブランドの下に、複数の運航社がいるため、2社としてカウントする。
- ・■■■■: 2019年夏期スケジュール期初と比較して増となった航空会社
- ・■■■■: 2019年夏期スケジュール期初と比較して減となった航空会社
- ・■■■■: 2019年冬期スケジュール、2019年夏期スケジュールと2期連続で運航がなかった航空会社
- ・この表は、NAAにて週間発着回数を独自に取りまとめたものであり、国土交通省が取りまとめた数値とは一部異なる。
- ・2019年冬期スケジュールは、2019年10月27日～2020年3月28日までの期間である。本発着回数は、ダイヤの切り替え後、各社の運航スケジュールが規則的に推移し始める時期の2週間分の発着回数を平均し算出している。2019年冬期スケジュールにおける集計対象期間は、2019年11月10日～11月23日(14日間)をベースに算出した。
- ・2019年夏期スケジュールの週間発着回数は2019年4月7日～4月20日(14日間)を、2018年冬期スケジュールの週間発着回数は2018年11月4日～11月17日(14日間)、それぞれベースとしている。
- ・それぞれの日平均は小数点以下を四捨五入しているため、日平均の和が合計と一致しない場合がある。

週間発着回数推移 (各シーズン定期スケジュール期初)

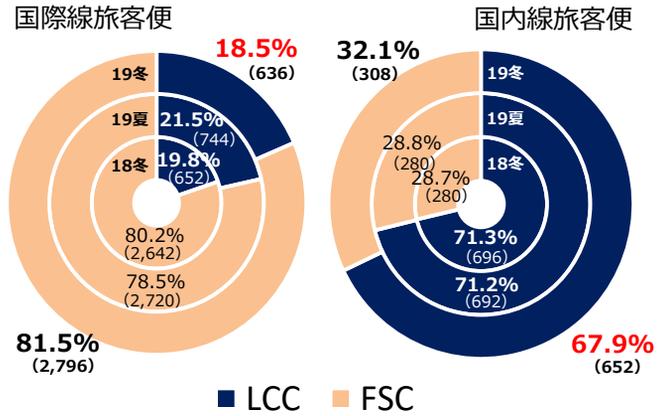


国際線旅客便路線別週間発着回数シェア

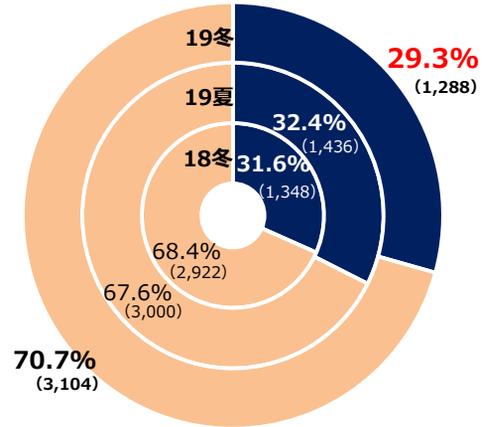


旅客便発着回数に占めるLCCシェア

(カッコ内は発着回数)



旅客便全体



国際線旅客便路線別発着回数

	19冬①	19夏②	18冬③	①-②	①-③
太平洋線	648	668	630	△ 20	18
欧州線	270	306	248	△ 36	22
アジア線 (中東含む)	846	824	798	22	48
中国線	628	480	468	148	160
韓国線	328	448	400	△ 120	△ 72
台湾線	266	288	302	△ 22	△ 36
香港線	252	264	252	△ 12	0
オセアニア線	124	118	116	6	8
ガム線	56	56	70	0	△ 14
アフリカ線	14	12	10	2	4
総計	3,432	3,464	3,294	△ 32	138

【国際線旅客便発着回数について】対2018年冬期

→ 冬期スケジュールにおいて過去最高を記録した要因
 ・昨今の日韓情勢による減便や運休があったものの、日中間の権益拡大にともなう新規乗り入れや増便などがあることから、過去最高を記録しました。

→ 韓国線の減少要因

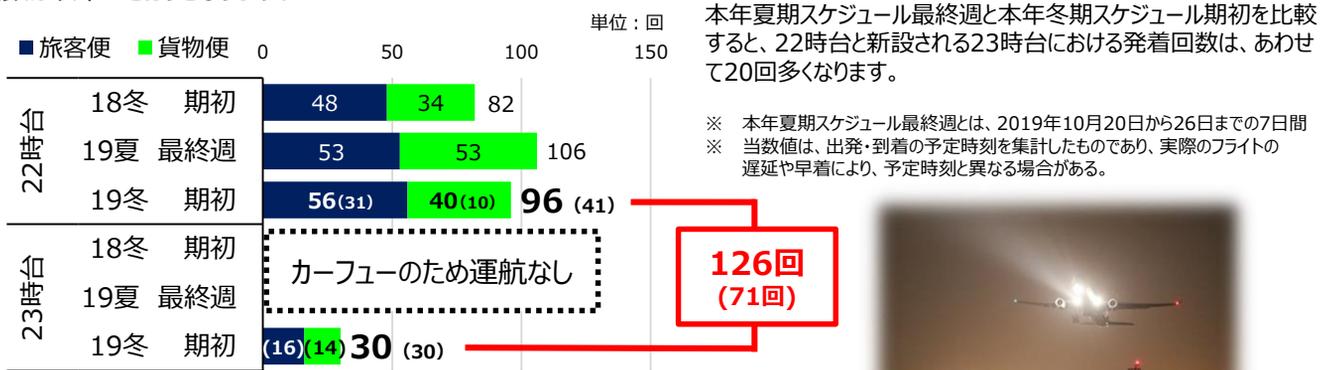
・日韓情勢により、韓国線を運航している各社による訪日需要に対応した減便や運休などの便数調整がLCCを中心に相次いだことから、韓国線の週間発着回数が大幅に減少し、また韓国線の就航都市も5都市から4都市に減少しました。

→ 中国線の増加要因

・日中間の権益拡大を受け、中国線への新規乗り入れや新規就航、増便が予定されていることから、国際線旅客便発着回数が冬期スケジュールにおける過去最高を記録する主な要因となりました。

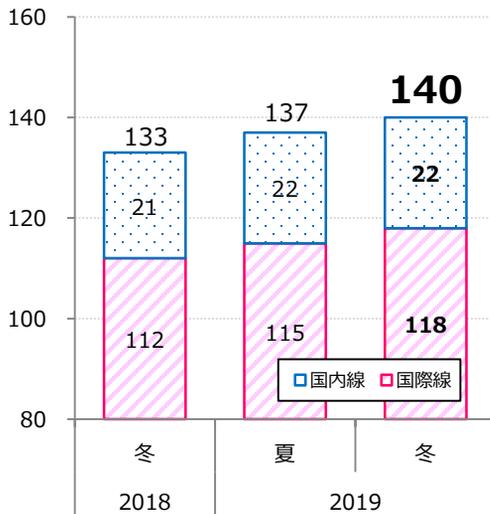
22時以降の定期スケジュール便発着回数

2019年10月27日より、A滑走路の発着時間が23時から24時まで延長されることにもない、22時台および23時台の週間発着回数は以下のとおりとなります。



カッコ内の数値は、本年夏期スケジュール最終週から本年冬期スケジュール期初にかけて、新たに22時台および23時台に時間変更された発着予定時刻の発着回数

就航都市数推移 (各シーズン定期スケジュール期初)

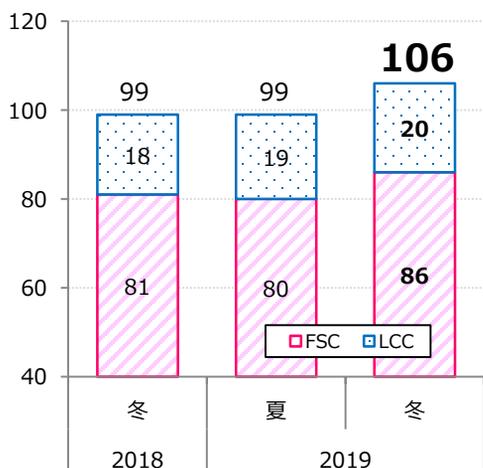


2019年夏期スケジュール期初以降の就航動向 (3都市増)

増となった都市 (10都市)	減となった都市 (7都市)
寧波 (Spring Japan)	バナナ (マレーシア航空)
イスラマバード (パキスタン国際航空)	イルクーツク (S7航空)
カラチ (パキスタン国際航空)	石垣 (バニラエア)
ラホール (パキスタン国際航空)	ウィーン (オーストリア航空)
ノヴォシビルスク (S7航空)	カルガリー (エア・カナダ)
庄内 (ジェットスター・ジャパン)	トロント (エア・カナダ)
パース (全日本空輸)	務安 (チェジュ航空)
チェンナイ (全日本空輸)	太字は、冬期スケジュール期初から新規就航・運休する都市
福州 (厦門航空)	
ヌルスルタン (SCAT航空)	

※ なお今後、12月26日よりピーチ・アビエーションの石垣線、2020年3月12日よりエルアル イスラエル航空のテルアビブ線の新規就航が予定されている。

定期乗り入れ航空会社数推移 (各シーズン定期スケジュール期初)



2019年夏期スケジュール期初以降の就航動向 (7社増)

増となった航空会社 (11社)	減となった航空会社 (4社)
パキスタン国際航空	ジェットエアウェイズ
ニューギニア航空	ニューギニア航空
カリッタ航空	オーストリア航空
エルアル イスラエル航空※	バニラエア
サウディア※	※はコードシェアでの新規乗り入れ
吉祥航空	
春秋航空	
カーゴルクスイタリア	太字は、冬期スケジュール期初から新規乗り入れ・運休する航空会社
SCAT航空	
中国貨運航空	
エアアジアX	

